

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

NTT 株式会社（証券コード:9432）
（旧 日本電信電話株式会社）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

AAA
安定的

■格付事由

- (1) 国内最大手の総合通信会社グループを形成する持株会社。総合 ICT 事業（NTT ドコモ（ドコモ）など）、地域通信事業（NTT 東日本、NTT 西日本）、グローバル・ソリューション事業（NTT データグループなど）、その他（不動産、エネルギーなど）のセグメントを有する。地域通信では法律によってユニバーサルサービスの提供や光ファイバの他事業者への貸し出しなど様々な規制を受けている。20 年のドコモに続き、25 年 9 月に NTT データグループを完全子会社化した。また、10 月にはドコモが住信 SBI ネット銀行を連結子会社化し、非通信分野（スマートライフ）の強化を図っている。
- (2) 国内通信業界のトップ企業としての強固な事業基盤に変化はない。利益の中核であるドコモは競争激化などを背景に主力のコンシューマ通信が弱含んでいるが、注力分野である法人ビジネスや金融・決済等のスマートライフが堅調に推移している。地域通信事業では DX・AI を活用したオペレーション改革や不採算サービスの縮小など利益改善に向けた取り組みが進んでいる。グローバル・ソリューション事業は国内外の SI 事業における受注が好調であることに加え、成長ドライバーとなるデータセンター事業の拡大が順調である。これらにより、今後も高水準の利益を維持できると JCR は判断している。大型投資に伴う財務負担は相応に大きいですが、当社の安定した事業基盤や高いキャッシュフロー水準などを踏まえれば、中長期的にみて財務諸指標は改善に向かうと予想している。以上より、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 26/3 期の営業利益は 1 兆 6,600 億円（前期比 0.6%増）と前期並みの水準が計画されている。総合 ICT はドコモにおける顧客基盤の強化に向けた販促費の積み増し等で減益を見込むが、好調なグローバル・ソリューションが連結業績をけん引する見通し。中期経営戦略（24/3 期～28/3 期）で掲げる約 8 兆円の成長投資は、スマートライフや法人、海外データセンター投資などで概ね計画通り進捗している。グループ連携強化による事業成長の加速や通信・金融サービスの融合を通じた顧客エンゲージメントの強化など、一連の投資効果の発現状況に注目していく。
- (4) NTT データグループの完全子会社化や住信 SBI ネット銀行の買収など大型投資が重なることにより、有利子負債/EBITDA 倍率など財務諸指標の悪化は避けられない。一方、完全子会社化によって外部への利益流出がなくなり、キャッシュフローの厚みは更に増す。通信事業からのキャッシュ創出力が安定している点も考慮すれば、財務リスクが過度に高まる懸念は小さい。

（担当）本西 明久・村松 直樹

■格付対象

発行体：NTT 株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年2月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「通信」（2022年6月15日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） NTT 株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル